

米に関するマンスリーレポート

新潟県版 令和元年12月

《今月の特集1》

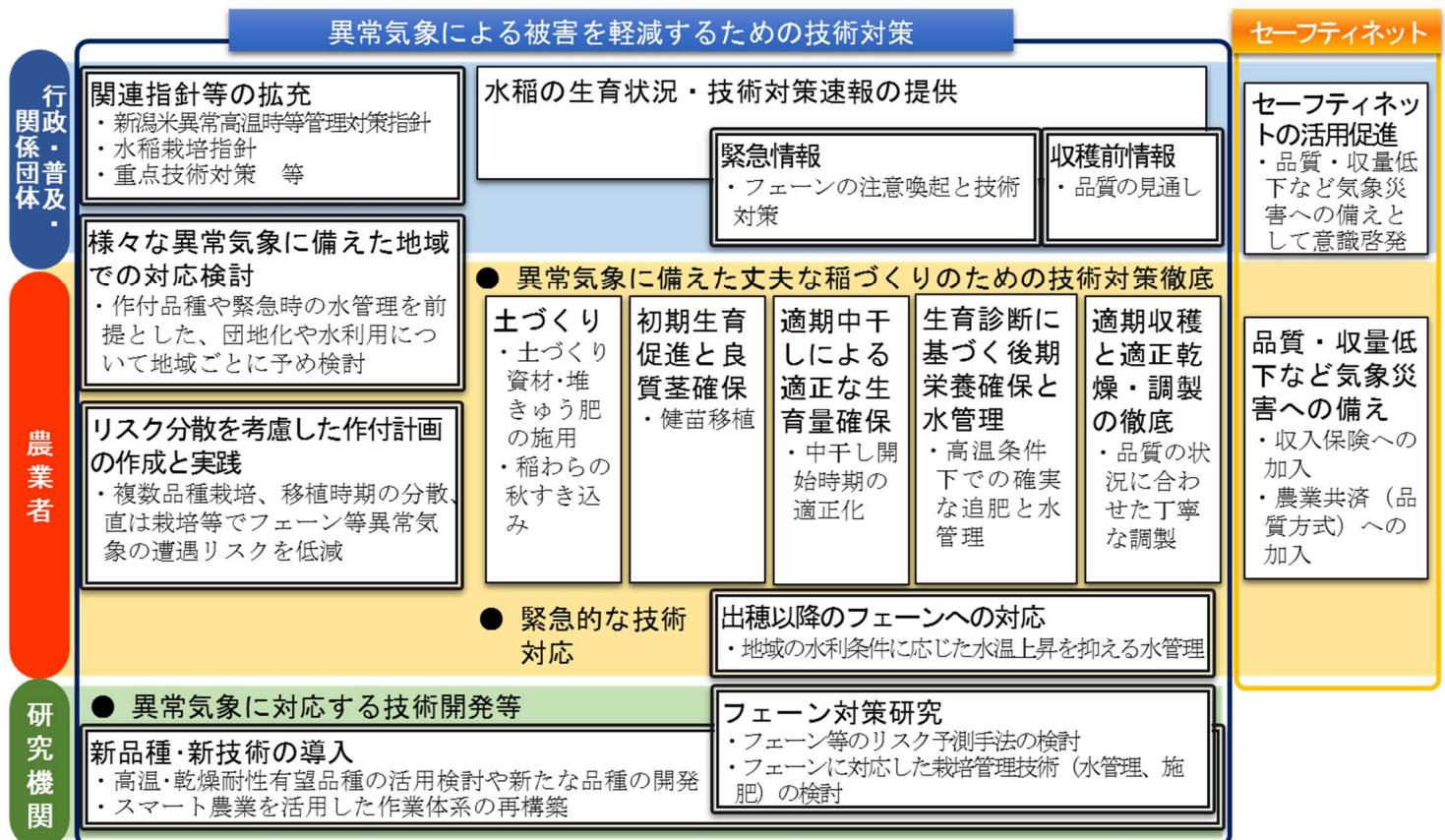
異常気象に対応した新潟米の対応方向について

本年は、コシヒカリを中心に品質が低下したことから、県が設置した「令和元年産米の品質に関する研究会」で、本年産の品質低下の要因と対応方向を検討しました。

研究会では、品質低下の要因であるフェーンなどの異常気象による被害は、稲の生育ステージによっては実施可能な技術に制約があるため完全に防ぐことは困難としながらも、異常気象に備える対策を組み合わせることで被害の軽減することは可能とし、そのための対応方向が以下のとおり示されました。新潟米の食味・品質の向上に向け、着実な実践をお願いします。

- ①土づくりなどによる「異常気象に備えた丈夫な稲づくり」
- ②高温耐性がある新之助等の生産拡大など「品種や移植時期の分散によるリスク管理」
- ③異常気象に備えた丈夫な稲づくりのための技術対策（適期中干しによる適正な生育量の確保や生育診断に基づく後期栄養の確保など）の徹底
- ④緊急時の効率的な用水利用についての地域ごとの検討

合わせて、気象被害の発生等に備えたセーフティネット制度である、収入保険や農業共済（品質方式）への加入をご検討ください。



令和元年産米の品質に関する研究会に関しては、以下の新潟県ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/nosanengei/niigatamai-kenkyukai.html>

《今月の特集2》

令和2年産米の県全体の生産目標

1 国の基本指針（11月20日公表）における生産見通し

国は、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」で、令和2年産の主食用米の全国需要量が前年に比べ10万トン減少すると推計し、令和2年産の生産量の見通しを、翌年6月末の在庫量が安定供給できる水準となる708万トンから需要見通しと同水準の717万トンと幅を持って設定しました。

2 令和2年産における県全体の生産目標

国の基本指針を踏まえ、新潟米基本戦略に即して、主食用米の県生産目標は43万3,300トン～44万2,000トンと、昨年同様に幅を持たせて設定することとしました。

非主食用米については、水田フル活用の観点から、主食用米の適正生産を図りながら全体で水稻作付面積を維持し、県内の米関連企業等の需要にも対応できる目標としています。

令和2年産の新潟米については、事前契約等で需要を的確に捉えたうえで、需要に応じた生産・販売に取り組みましょう。

主食用米の生産目標

(単位：トン)

	R元年産			R2年産		
	実績	目標		目標		
国の基本指針	7,270,000	7,180,000 ～ 7,270,000		7,080,000(98.6%) ～ 7,170,000(98.8%)		
家庭用	コシヒカリ	329,600	306,400 ～ 313,000		302,100 ～ 306,000	
	新之助	14,400	14,700 ～ 15,000		14,500 ～ 15,000	
業務用	こしいぶき	81,600	57,800 ～ 59,000		57,000 ～ 59,000	
	その他	37,100	35,200 ～ 36,000		34,700 ～ 36,000	
酒米・もち米	26,400	25,400 ～ 26,000		25,000 ～ 26,000		
(小計)	489,100	439,500 ～ 449,000		433,300(98.6%) ～ 442,000(98.4%)		
飯米・縁故米	77,000	77,000		77,000		
(計)	566,100	516,500 ～ 526,000		510,300 ～ 519,000		
ふるい目1.7～1.85mm分	12,800	15,700 ～ 15,900		15,500 ～ 16,000		
(合計)	578,900	532,200 ～ 541,900		525,800 ～ 535,000		

国の生産見通しの減少率に合わせ、県も令和2年産主食用米の生産目標を設定。

非主食用米の生産目標

(単位：トン)

	R元年産			R2年産	
	実績（取組計画認定数量）	目標		目標	
加工用米	31,200	47,000 ～ 50,400		52,000 ～ 54,900	
米粉用米	7,800	12,000 ～ 12,700		13,000 ～ 13,300	
新市場開拓用米	4,300	8,000 ～ 8,500		10,000 ～ 10,400	
飼料用米	12,000	35,000 ～ 37,500		35,000 ～ 37,500	
備蓄米	25,100	34,000 ～ 36,500		34,000 ～ 36,500	
(合計)	80,400	136,000 ～ 145,600		144,000 ～ 152,600	

《今月の特集3》

令和2年度産地交付金の県枠の考え方について

産地交付金については本年度から県枠を設定し、加工用米等の安定供給に向け、多収性品種や複数年契約の取組に支援を行ってきました。

令和2年度の県枠の活用については、引き続き複数年契約の取組を支援するとともに、県内実需からのニーズを踏まえ、対象品種を拡大する方向で検討しており、令和2年産米の生産にあたり、ぜひ加工用米等への取組をご検討ください。

なお、最終的な支援内容は、12月下旬の国の概算決定を踏まえて設定します。

令和元年度の取組状況

- 加工用米等の安定的な供給に向け、多収性品種の生産や複数年契約に取り組む農業者へ支援するため県枠を設定
- 多収性品種の取組が倍増。
複数年契約は約6割。
- 一方、令和元年産の加工用米等非主食用米の取組は大幅に減少

支援内容	R元取組見込み
加工用米・新市場開拓用米・米粉用米の多収性品種の取組 (12,000円/10a)	約2.5億円 (約2,100ha)
加工用米・新市場開拓用米・米粉用米の多収性品種での複数年契約の取組 (5,000円/10a)	約0.6億円 (約1,200ha)
計	約3.1億円

令和元年産の課題

- ◆ **複数年契約の取組による安定供給体制づくりが必要**
- ◆ 農家所得確保の観点から多収性品種を支援対象とした一方で、**県内実需からはその他品種にも根強いニーズ**
- ◆ 多収性品種の取組が進めづらい中小規模の生産者では加工用米の取組が限定的

令和2年産の対応（案）

- ① **複数年契約の取組は、引き続き支援していく必要がある。また、対象品種を多収性品種以外にも拡大する。**
- ② 対象の拡大に当たっては、県枠の増額が必要となるが、「低コスト等の取組目標面積に対する配分額」から控除していく。
- ③ 控除後の残額は、米の品質低下や米価下落へのリスク分散を進めるため、令和2年産の大豆・麦・そば・高収益作物への作付面積に応じて追加配分する。



新潟米の販売状況

概況

元年産の新潟米については、作付や作柄の影響等により民間在庫はやや増加しているものの、販売状況は概ね順調に推移している。

販売比率

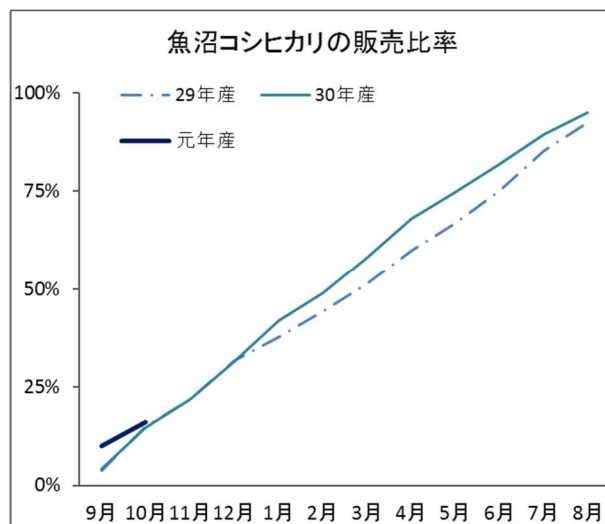
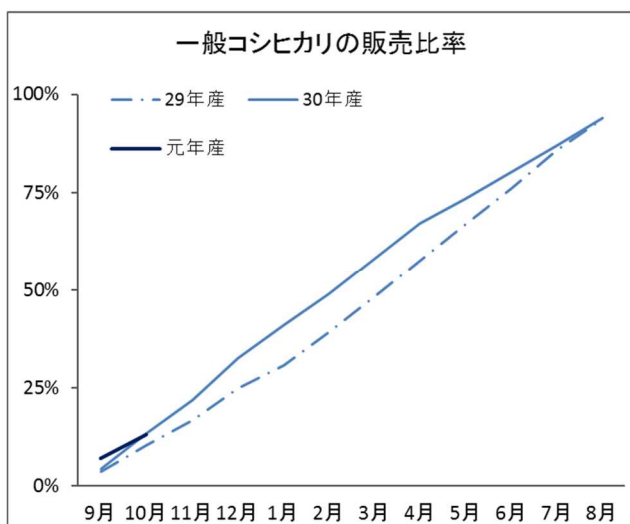
元年産米の販売は、30年産から引き続き順調に進んでおり、岩船コシヒカ리를販売比率（出荷進度）は前年及び前々年を概ね上回っている。

(1) 一般コシヒカリ

10月時点の元年産一般コシヒカリの販売比率は、前年と同じ13%となり、前年並みになった。

(2) 魚沼コシヒカリ

10月時点の元年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比1ポイント増の16%となり、10か月連続で前年を上回って推移している。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	4%	10%	17%	25%	31%	39%	48%	57%	67%	76%	86%	94%
	30年産	4%	13%	22%	33%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	5%	13%										
魚沼コシヒカリ	29年産	4%	15%	22%	32%	38%	44%	51%	60%	67%	75%	85%	93%
	30年産	4%	15%	22%	31%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	5%	16%										
岩船コシヒカリ	29年産	2%	13%	21%	28%	35%	43%	53%	62%	71%	78%	86%	95%
	30年産	1%	14%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	2%	11%										
佐渡コシヒカリ	29年産	3%	14%	21%	29%	38%	44%	52%	60%	69%	76%	86%	96%
	30年産	2%	18%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	3%	19%										

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。

30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、直近月の集荷量で除して算出。

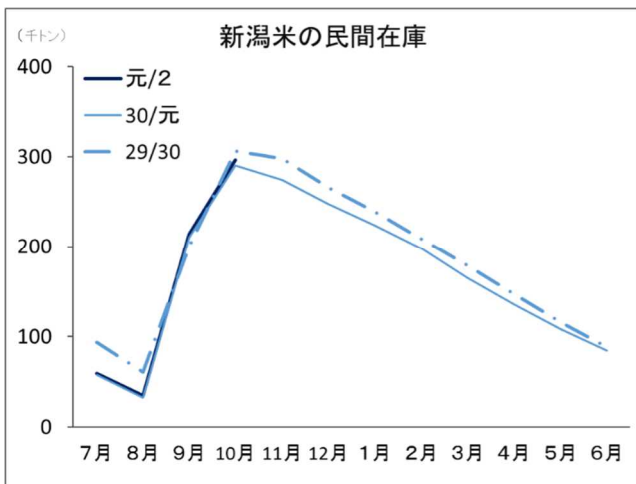
元年産は各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後集荷量の増加に伴い比率が変動する場合がある。



在庫状況

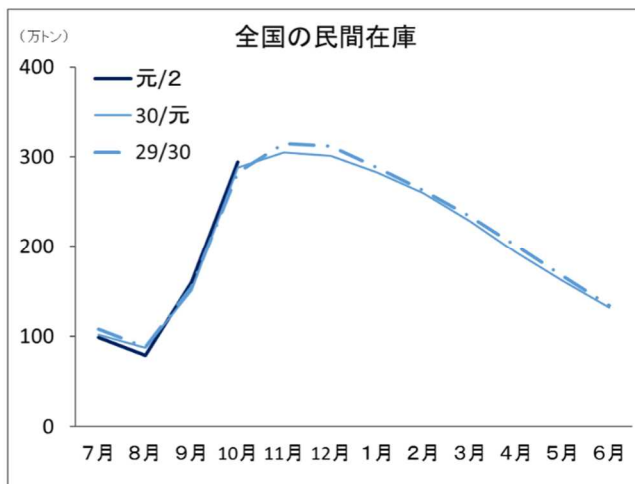
(1)新潟米

10月時点の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年比2.4%増の297千トンとなり、前年を4か月連続で上回った。



(2)全国

10月時点の全国の民間在庫(うるち米)は、前年比2.1%増の294万トンとなり、前年を2か月連続で上回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

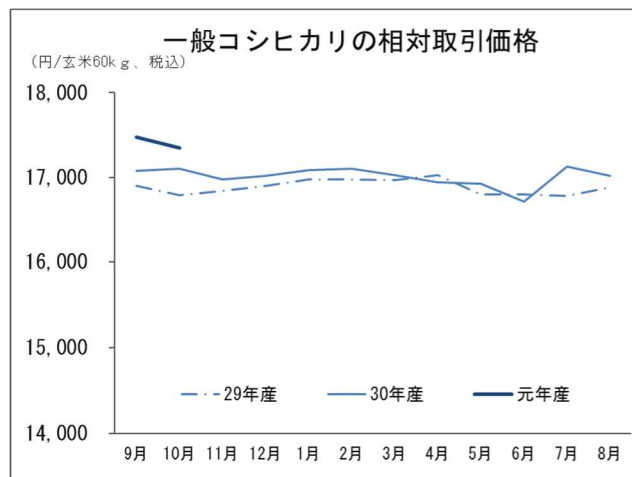
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
新潟米	29/30	94	61	200	307	298	266	239	209	179	147	116	88	
	29年産米	0	0	160	269	265	239	218	192	164	136	107	82	
	1年古米(28年産)	89	59	39	38	32	26	21	16	15	11	9	6	
	30/元	58	32	210	290	275	248	224	198	165	136	108	85	
	30年産米	0	1	194	276	264	241	219	194	163	134	107	84	
	1年古米(29年産)	53	29	15	13	9	6	4	3	2	1	1	1	
	元/2	59	35	214	297									
	元年産米	0	1	194	281									
	1年古米(30年産)	58	34	20	16									
全国	29/30	108	88	155	283	315	312	288	263	234	201	167	134	
	29年産米	1	15	104	241	282	288	270	249	223	192	160	129	
	1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	21	14	11	8	6	5	4	
	30/元	102	87	151	288	305	301	283	260	228	193	162	132	
	30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126	
	1年古米(29年産)	97	66	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4	
	元/2	99	79	160	294									
	元年産米	1	13	115	255									
	1年古米(30年産)	95	66	43	34									

資料：農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

相対取引価格

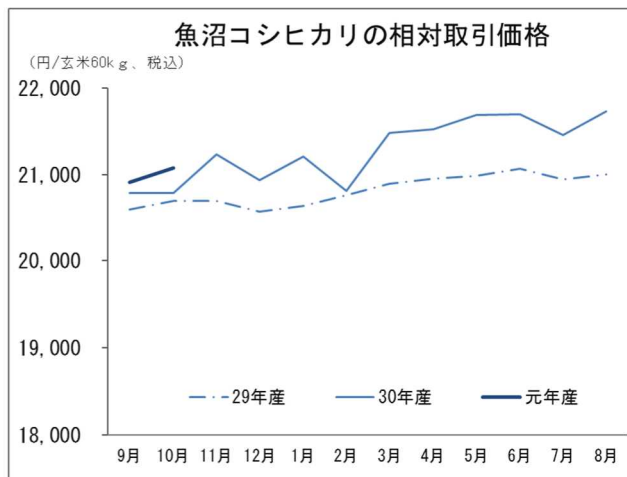
(1) 一般コシヒカリ

10月時点の元年産一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前月から118円下回り、17,353円(玄米60kg、税込)となった。



(2) 魚沼コシヒカリ

10月時点の元年産魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前月を166円上回り、21,085円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	16,906	16,798	16,846	16,907	16,982	16,980	16,974	17,030	16,801	16,801	16,784	16,890
	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353										
魚沼コシヒカリ	29年産	20,600	20,703	20,700	20,578	20,640	20,767	20,902	20,956	20,987	21,072	20,945	21,010
	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,482	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085										
岩船コシヒカリ	29年産	17,289	17,429	17,479	17,339	17,452	17,352	17,455	-	-	-	-	-
	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	18,337	-
	元年産	17,811	17,917										
佐渡コシヒカリ	29年産	17,311	17,325	17,415	17,340	17,362	17,486	17,484	17,665	-	-	-	17,362
	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	17,743	-
	元年産	17,834	17,922										

(資料) 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

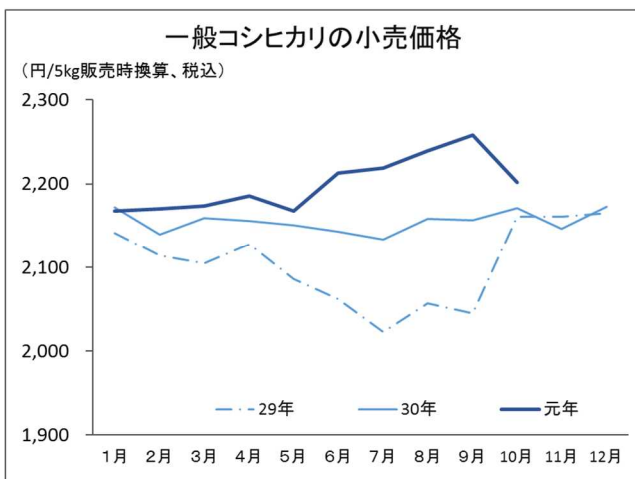
(注) 「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。



小売価格
(POSデータ)

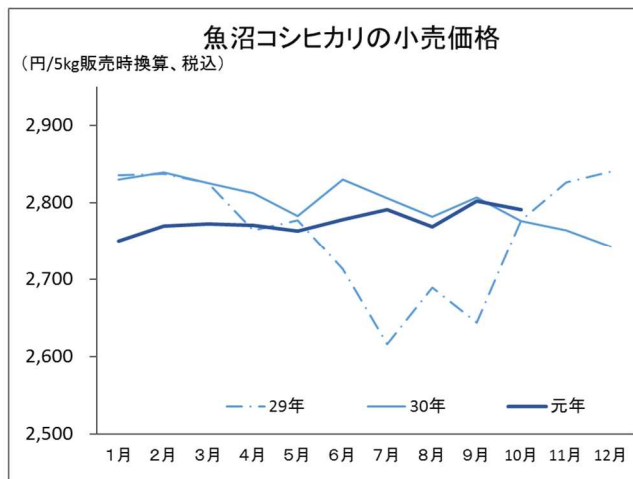
(1) 一般コシヒカリ

10月時点の一般コシヒカリの小売価格は、前年比で1.4%上昇し、2,202円(5kg袋販売時換算、税込)となり、9か月連続前年を上回ってはいるが5か月振りに価格が下落した。



(2) 魚沼コシヒカリ

10月時点の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年比で0.5%上昇し、2,791円(5kg袋販売時換算、税込)となり、13か月振りに前年を上回った。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
一般コシヒカリ	29年	2,141	2,114	2,105	2,128	2,086	2,062	2,023	2,057	2,045	2,161	2,161	2,165
	30年	2,172	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173
	元年	2,168	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202		
魚沼コシヒカリ	29年	2,835	2,837	2,825	2,764	2,777	2,713	2,616	2,689	2,644	2,777	2,826	2,840
	30年	2,830	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743
	元年	2,750	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791		
岩船コシヒカリ	29年	2,114	2,024	2,031	2,123	2,210	2,230	2,188	2,163	2,181	2,158	2,200	2,224
	30年	2,270	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224
	元年	2,244	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220		
佐渡コシヒカリ	29年	2,121	2,158	2,149	1,983	2,151	2,015	2,141	2,127	2,169	2,174	2,259	2,266
	30年	2,282	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246
	元年	2,262	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232		

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

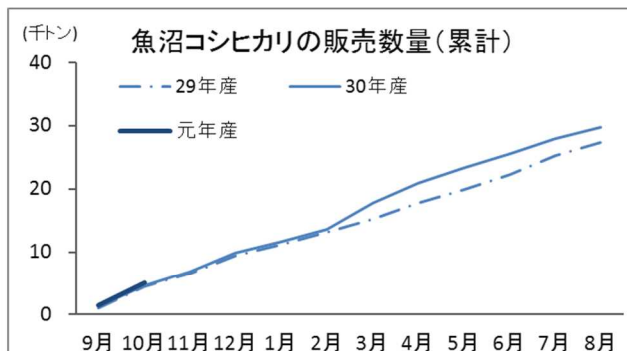
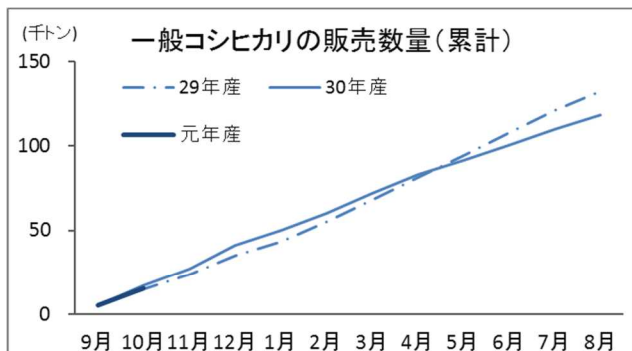
発行元:新潟県農林水産部農産園芸課

TEL:025-280-5295

URL:https://www.niigatamai.info

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

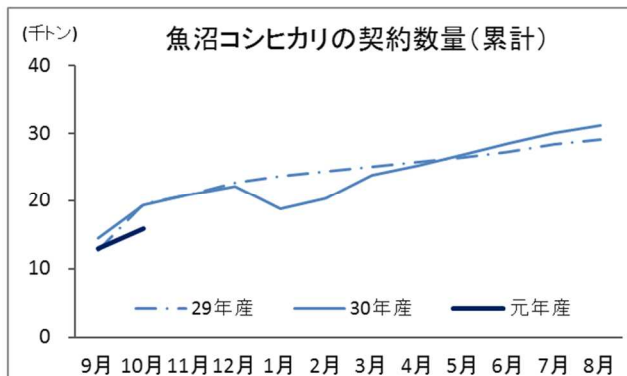
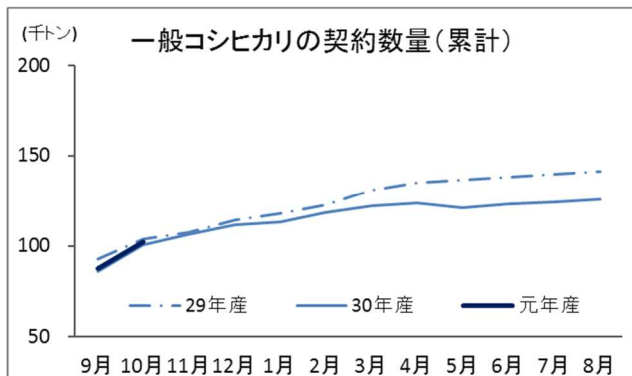
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	29年産	5.1	14.6	23.5	35.2	43.3	55.3	68.1	81.2	94.6	107.6	121.4	132.6
	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50.0	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2										
魚沼 コシヒカリ	29年産	1.1	4.4	6.5	9.4	11.2	13.1	15.2	17.7	19.8	22.3	25.2	27.4
	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0										
岩船 コシヒカリ	29年産	0.2	1.4	2.4	3.1	3.9	4.8	5.9	6.9	7.9	8.7	9.6	10.6
	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4										
佐渡 コシヒカリ	29年産	0.4	1.9	2.9	4.0	5.1	6.0	7.1	8.1	9.4	10.3	11.7	13.0
	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9.0	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3										

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

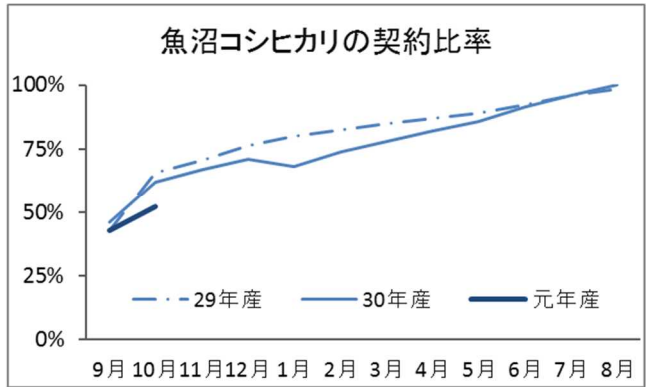
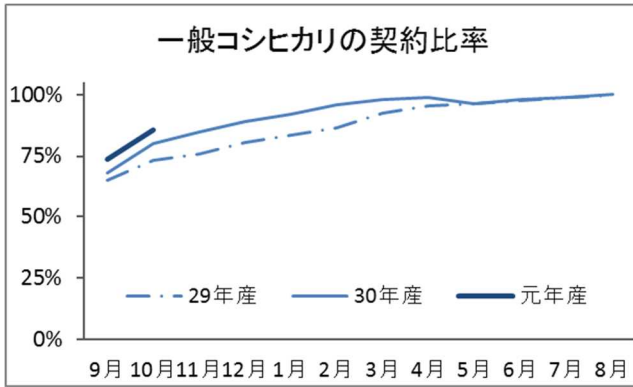
(玄米千トン)

産地・年産	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
一般 コシヒカリ	29年産	92.5	103.8	107.3	114.2	117.9	122.6	130.7	134.8	136.4	138.0	139.7	141.1
	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9										
魚沼 コシヒカリ	29年産	12.7	19.5	20.9	22.6	23.7	24.4	25.1	25.7	26.4	27.3	28.4	29.1
	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9										
岩船 コシヒカリ	29年産	10.1	10.1	10.1	10.3	10.4	10.7	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2	11.2
	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5										
佐渡 コシヒカリ	29年産	11.9	12.0	12.1	12.2	12.4	12.9	13.2	13.5	13.5	13.5	13.5	13.6
	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1										

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	65%	73%	76%	81%	83%	87%	92%	95%	96%	98%	99%	100%
	30年産	68%	80%	85%	89%	92%	96%	98%	99%	97%	98%	99%	100%
	元年産	74%	86%										
魚沼コシヒカリ	29年産	43%	66%	71%	76%	80%	82%	85%	87%	89%	92%	96%	98%
	30年産	46%	62%	67%	71%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	43%	52%										
岩船コシヒカリ	29年産	90%	91%	90%	92%	93%	96%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	30年産	107%	107%	107%	107%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	75%	76%										
佐渡コシヒカリ	29年産	88%	88%	89%	90%	91%	95%	97%	99%	99%	99%	99%	100%
	30年産	94%	96%	96%	98%	98%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	91%	93%										

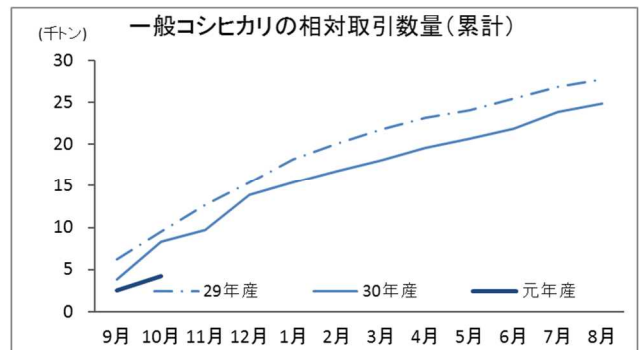
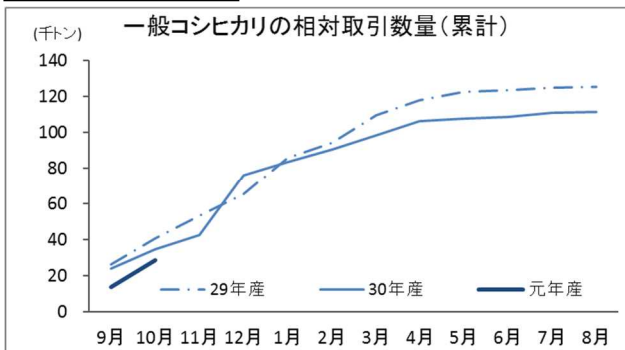
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)平成29年産は、各月末時点の販売数量を翌年8月末の集荷量で除して算出。

30年産12月以前は国による比率算出が公表されなかったため、直近月の集荷量で除して算出。

元年産は各月末時点の販売数量を直近月の集荷量で除して算出しているため、今後集荷量の増加に伴い比率が変動する可能性がある。

相対取引数量



相対取引数量(累計)の推移

(玄米トン)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	29年産	26,315	40,574	53,260	65,185	85,828	94,165	109,598	118,046	122,441	123,694	124,707	125,309
	30年産	24,056	34,805	42,333	76,176	83,475	90,377	98,290	106,259	107,846	108,637	110,769	111,440
	元年産	13,585	28,777										
魚沼コシヒカリ	29年産	6,213	9,516	12,708	15,378	18,212	20,077	21,785	23,177	24,067	25,454	26,820	27,785
	30年産	3,859	8,262	9,672	13,887	15,353	16,786	18,050	19,543	20,650	21,836	23,879	24,848
	元年産	2,485	4,245										
岩船コシヒカリ	29年産	5,843	6,192	6,777	8,030	8,604	9,935	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225	11,225
	30年産	4,244	5,391	5,932	8,509	8,762	9,678	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833	10,833
	元年産	2,285	2,897										
佐渡コシヒカリ	29年産	3,789	5,401	6,211	6,948	10,956	11,973	12,945	13,236	13,236	13,236	13,236	13,370
	30年産	3,682	4,782	5,809	8,111	8,749	9,391	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549	10,549
	元年産	2,224	3,752										

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注1)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

(注2)相対取引契約がなかった又は相対取引量が100トン未満であり、価格の公表が行われなかった月については、前月と同じ数量を記載した。